

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

有明清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
66	1号炉	休炉	R3.2.3	4:50	R3.2.3	5:56	R3.2.11	16:30	R3.2.12	7:12	ごみ投入ホップでブリッジが発生した。解除ができないことから、1号焼却炉を立ち下げた。
45	2号炉	休炉	R2.10.8	18:20	R2.10.9	11:00	R2.11.20	17:00	R2.11.21	8:27	2号焼却炉ボイラ下シュートの温度が低いことを発見した。灰による閉塞であり、当該シュートを槌打するも閉塞を解消できないため、2号焼却炉を立ち下げた。

千歳清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
4	1号炉	休炉	R2.4.9	23:26	R2.4.10	1:15	R2.4.13	20:55	R2.4.14	16:55	右乾燥ストーカのケーシング温度上限が発報し、シリンダーロットブーツ周辺から煙も発生したため、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。

江戸川清掃工場 <休炉3、停止2>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
24	2号炉	休炉	R2.7.23	8:00	R2.7.24	9:54	R2.7.28	17:01	R2.7.29	9:37	長物の不燃物が主灰シュートの途中で引っかかった影響で主灰シュートホッパ部に灰の堆積が確認された。主灰シュートが閉塞し始めたため焼却炉を停止した。
8	2号炉	休炉	R2.4.22	6:13	R2.4.22	1:03	R2.5.11	17:33	R2.5.12	15:03	2号炉立下げ中にボイラドラム圧力が上昇傾向となった。タービンバイパスラインに蒸気を流す操作を行ったところ、蒸気復水設備に大量の蒸気が流れ込み、大気放出板が破損した。
7	1号ごみクレーン	停止	R2.4.21	23:00	R2.4.22	1:03	R2.5.11	17:33	R2.5.31	14:00	1号ごみクレーン巻上ドラムの片方が脱落しかけていることを発見。軸受及びボルト破損のためクレーン使用停止。2号ごみクレーンも故障停止中につき、クレーン全機使用不可となり、2号焼却炉を立ち下げた。
6	2号ごみクレーン	停止	R2.4.13	11:00					R2.4.22	13:30	2号ごみクレーン手動運転時、ケーブルリール用トルクモータの電流値が高いことに気づいた。現場確認したところモータの巻線の一部が焼損していたため、使用を停止した。
2	1号炉	休炉	R2.4.2	9:39	R2.4.6	11:40	R2.5.30	14:55	R2.6.1	11:10	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管及び過熱器管)の閉塞が疑われるため焼却炉を停止した。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

墨田清掃工場 <休炉0、停止3>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
47	1号ごみク	停止	R2.10.19	13:50					R2.11.11	13:40	1号ごみクレーンのワイヤーがキンクし運転が困難なため、1号ごみクレーンを格納し使用を停止した。
35	2号ごみク	停止	R2.8.24	23:51					R2.8.25	16:00	2号ごみクレーンの給電ケーブルが断線し、運転が困難なため、2号ごみクレーンを格納し使用を停止した。
14	2号ごみクレーン	停止	R2.6.8	16:00					R2.7.2	12:00	2号ごみクレーンの横行車輪が破損し走行が困難なため、2号ごみクレーンを格納し使用を停止した。
82	1号炉	休炉	R2.3.31	13:30	R2.3.31	16:57	R2.4.1	13:30	R2.4.2	15:07	タービン主蒸気止弁の調整ねじから蒸気漏れが発生し、補修のため焼却炉を立ち下げた。

北清掃工場 <休炉1、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
29	1号炉	休炉	R2.8.2	11:00	R2.8.3	19:00	R2.8.4	20:02	R2.8.5	11:25	日常点検時において、No.2ろ過式集じん器コンベヤのサイクロ減速機の軸がぶれて回転しているのを発見したため、焼却炉を立ち下げた。
18	1号ごみクレーン	停止	R2.6.22	13:38					R2.6.23	17:30	クレーン手動操作中に乱巻きが発生した。乱巻き復旧作業中、ワイヤロープがバケットの爪に絡まった。解除後、ワイヤロープにキンクが確認されたため使用を停止した。

新江東清掃工場 <休炉6、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
42	1号炉	休炉	R2.10.2	14:22	R2.10.2	19:39	R2.10.9	19:11	R2.10.10	17:32	1号炉No.1減温塔ロータリーバルブのショックリレー作動が多発した。清掃及び内部点検を行い、可能な措置を試みたが、復旧困難になったため焼却炉を立ち下げた。
28	3号炉	休炉	R2.8.1	10:00	R2.8.1	16:41	R2.8.7	17:08	R2.8.8	17:03	3号炉燃焼ストーカR側が前進端及び後進端まで到達しなく、可動範囲が狭くなった。そのため、燃焼ストーカR側に燃え残りが堆積し、ごみ送りが不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
25	2号炉	休炉	R2.7.26	0:44	R2.7.26	3:01	R2.10.6	16:37	R2.10.7	17:06	0時44分頃、2号炉No.1ボイラダストコンベヤLのトルクリミッタ作動警報が発報・復旧を繰り返していた。2時20分頃、可能な措置を試みたが、復旧困難になったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。
22	2号炉	休炉	R2.7.7	2:00	R2.7.12	17:00	R2.7.23	17:00	R2.7.24	19:02	7日午前2時頃、2号炉No.1ボイラダストコンベヤLのトルクリミッタが発生し、一時的に回復した。12日午前1時頃、再度トルクリミッタが多発し、復旧困難になった。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
13	2号炉	休炉	R2.6.6	23:00	R2.6.7	17:09	R2.6.19	16:05	R2.6.20	14:52	2号炉燃焼ストーカL側が前進端及び後進端まで到達しなく、可動範囲が狭くなった。そのため、燃焼ストーカL側に燃え残りが堆積し、ごみ送りが不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	R2.6.2	4:01	R2.6.2	17:03	R2.6.25	16:53	R2.6.26	15:20	「1号炉ろ過式集じん機ロータリーバルブNo.1異常」の警報が発報。調査の結果、上流側のNo.1ろ過式集じん機ダスト搬出コンベヤのスクレーパが複数破損していることがわかった。補修のため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

港清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
70	3号炉	休炉	R3.3.11	13:30	R3.3.11	14:20	R3.3.23	21:06	R3.3.24	11:05	3号蒸気式ガス再加熱器より蒸気漏れを発見した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
55	1号炉	休炉	R2.11.2	4:30	R2.11.26	13:00	R2.11.29	22:15	R2.11.30	10:34	全停電作業に伴うプラント復旧作業中、冷却水高置水槽出口弁の開操作を行ったところ、水槽上部からの漏水を確認した。水槽上部パネルの本補修を実施するため、稼働中の1号焼却炉を立ち下げた。
10	1号ごみクレーン	停止	R2.5.5	9:43					R2.5.8	16:00	給電ケーブルリールの中間軸破損により、給電ケーブルが切断した。

豊島清掃工場 <休炉4、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
67	2号炉	休炉	R3.2.11	4:35	R3.2.11	4:35	R3.2.23	9:47	R3.2.23	18:17	誘引ファン入口ダンパ電油操作器の制御に不具合が生じ、炉内圧力制御が乱れた。その結果、炉内圧力上限の警報が発報し、インターロック作動により非常停止した。
56	タービン発電機	停止	R2.11.24	17:00	R2.12.8	4:14	R2.12.8	13:04	R2.12.8	20:11	蒸気タービン発電機を運転中、電子ガバナの液晶モニタが表示不良となった。DCSにて監視可能だったが調査のため立ち下げた。
37	2号炉	休炉	R2.9.1	12:00	R2.9.11	11:17	R2.9.18	17:30	R2.9.19	2:14	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。不燃物の状況確認及び除去作業を行うため、焼却炉を停止した。
30	1号炉	休炉	R2.5.27	8:00	R2.8.6	23:20	R2.8.14	20:41	R2.8.15	10:17	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が頻発し、燃焼管理に影響が生じていた。稼働中に可能な処置を試みたが改善が見込めず、不燃物の状況確認及び除去作業を行う必要があると判断し、焼却炉を停止した。
9	2号炉	休炉	R2.4.30	10:30	R2.5.1	19:52			R2.5.8	12:00	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。稼働中に可能な措置を試みたが復旧しなかったため、炉内に堆積した不燃物の状況確認及び解除作業を行う必要から焼却炉を停止した。(焼却炉立ち下げ後定期点検補修工事に入る。)

渋谷清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
31	1号炉	休炉	R2.8.7	2:00	R2.8.7	13:18	R2.8.23	22:00	R2.8.24	14:37	炉床の焼却不適物堆積の疑いによる燃焼悪化が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。稼働中に可能な措置を試みたが改善しなかった。炉内の状況確認及び堆積した不燃物除去のため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

中央清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
57	1号炉	休炉	R2.12.20	10:00	R2.12.21	9:20	R3.1.4	17:44	R3.1.5	17:06	1号炉ストーカ下コンベヤの減速機が故障し、コンベヤの動作が不能となった。灰の搬出ができないため、焼却炉を立ち下げた。
33	1号炉	休炉	R2.7.23	22:30	R2.8.13	10:00	R2.8.21	15:48	R2.8.22	11:34	1号誘引ファンのドレン配管が腐食により脱落した。配管折損部にステンレスキャップを接着し、応急処置をした。現状では再度腐食により破孔する恐れがある。補修のため、1号焼却炉を立ち下げた。

板橋清掃工場 <休炉5、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	2号炉	休炉	R3.3.14	10:00	R3.3.15	0:00	R3.3.19	15:14	R3.3.20	10:36	ボイラ給水ポンプBの冷却水系統の流量が低下し改善が見られなかった。調査のため2号焼却炉を立ち下げた。
62	1号炉	休炉	R3.1.8	12:29	R3.1.8	17:30	R3.1.13	15:26	R3.1.14	11:15	焼却炉から灰が排出されていなかった。調査のため、1号焼却炉を立ち下げた。
52	1号炉	休炉	R2.11.14	23:56	R2.11.15	7:40	R2.11.18	14:59	R2.11.19	12:16	1号炉主灰コンベヤAが過電流により運転ができなくなり、灰の搬出ができないため、焼却炉を立ち下げた。
46	1号炉	休炉	R2.10.9	9:40	R2.10.9	14:03	R2.10.12	18:31	R2.10.13	12:04	過熱低減器へ行く配管途中から水滴がたれているのを点検中に発見。調査の為、焼却炉を立ち下げた。
43	2号炉	休炉	R2.10.6	2:21	R2.10.6	14:25	R2.10.14	15:31	R2.10.15	11:32	2号炉主灰コンベヤAのコンベヤチェーンが脱輪した。運転継続ができないため、焼却炉を立ち下げた。
75	2号炉	休炉	R2.3.15	14:50	R2.3.15	16:30	R2.6.19	15:15	R2.6.20	9:26	2号炉ボイラ下ダストコンベヤを点検したところ、灰が湿っていることを確認した。調査の為、2号焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

多摩川清掃工場 <休炉5、停止4>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
60	2号炉	休炉	R2.12.28	6:34	R2.12.28	10:32	R2.12.30	15:37	R2.12.31	12:48	2号ストーカ下コンベヤ(2)が故障し、コンベヤの動作が不能となった。灰の搬出ができないため、焼却炉を立ち下げた。
53	A号ごみク	停止	R2.11.15	13:07					R2.11.18	12:00	A号ごみクレーン自動運転中に故障警報が発報し、ごみバンカ内で停止した。バケットELB断によりバケットの開閉ができなかったため、格納位置まで移動させ、バケットを閉じた状態で格納した。
36	1号炉	休炉	R2.9.10	3:18	R2.9.10	4:47	R2.9.10	9:43	R2.9.10	12:17	煙突入口ガスHCl濃度PV上限警報が発報した。現場の計器を確認したところ、計器に異常がみられたため、焼却炉を立ち下げた。
34	B号ごみク	停止	R2.8.21	14:00					R2.8.25	12:00	B号ごみクレーンのワイヤロープのクリップ部にたわみ、数本の素線切れを確認したため、B号ごみクレーンを停止した。
32	2号炉	休炉	R2.8.9	10:00	R2.8.10	15:00	R2.8.13	18:13	R2.8.14	13:46	2号ボイラ給水ポンプBのバランスフロー配管より漏れの疑いがあり、調査のため、焼却炉を立ち下げた。
26	2号炉	休炉	R2.7.18	8:00	R2.7.27	14:04	R2.8.3	10:28	R2.8.4	14:46	後燃焼用ファンから異音が発生した。経過観察していたが、異音が大きくなってきたことから、調査のため、焼却炉を立ち下げた。
21	2号炉	休炉	R2.7.8	5:40	R2.7.8	5:40	R2.7.8	7:08	R2.7.8	8:27	後燃焼用ファンの故障が発生し、2号炉が非常停止した。後燃焼用ファン制御盤にて地絡保護動作警報が発報していたので、リセットした。制御盤二次側にて絶縁抵抗の測定、後燃焼用ファンの試運転の結果、異常がなかったため、焼却炉を立ち上げた。
17	B号ごみクレーン	停止	R2.6.22	10:33					R2.6.24	17:00	B号ごみクレーンバケット開閉回路の漏電遮断器が作動していた。当該回路の絶縁抵抗値を測定した結果、不良箇所があったため、B号ごみクレーンを停止した。
11	ごみクレーンA	停止	R2.5.11	16:45					R2.5.20	13:00	日常点検中にA号ごみクレーンのワイヤロープのクリップ部にたわみ、及びワイヤロープの素線切れを確認したため、A号ごみクレーンを停止した。

足立清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
74	2号炉	休炉	R3.3.26	15:10	R3.3.26	16:19	R3.3.29	17:39	R3.3.30	12:07	No.3乾燥帯ストーカの動作不良が発生し、調査したところ、同ストーカ下シュートの閉塞を確認した。閉塞箇所の解除のため焼却炉を立ち下げた。
23	1号炉	休炉	R2.7.14	10:00	R2.7.20	16:30	R2.7.24	15:54	R2.7.25	9:11	1号炉No.1自工場主灰コンベヤの月例点検の際、コンベヤ駆動側軸受ユニットのカバーが外れていることを確認した。調査の結果、軸受が損傷しており、長期間の運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

品川清掃工場 <休炉5、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
73	2号炉	休炉	R3.3.25	7:49	R3.3.25	13:05	R3.3.30	14:25	R3.3.31	17:11	焼却炉稼働中にPLC通信異常が発報した。復旧を試みたが誘引ファンが制御不能となり運転継続が困難となったため、焼却炉非常停止ボタンを押し停止させた。
73	1号炉	休炉	R3.3.25	7:49	R3.3.25	13:05	R3.3.29	10:54	R3.3.30	11:07	焼却炉稼働中にPLC通信異常が発報した。復旧を試みたが誘引ファンが制御不能となり運転継続が困難となったため、焼却炉非常停止ボタンを押し停止させた。
49	1号炉	休炉	R2.10.18	9:30	R2.10.29	15:02	R2.11.2	14:57	R2.11.3	14:36	日常点検時、1号焼却炉No.2過熱低減器上部より蒸気が漏れていることを確認した。調査のため焼却炉を立ち下げた。
44	2号炉	休炉	R2.10.9	3:39	R2.10.9	9:34	R2.10.13	9:28	R2.10.14	11:02	2号ボイラ灰搬出装置(スクルーコンベヤ)が過電流で停止した。現場で正転・逆転を複数回試みたが復旧せず、灰の搬出が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
41	2号炉	休炉	R2.10.1	8:48	R2.10.1	8:48	R2.10.1	9:25	R2.10.1	11:02	ボイラ給水ポンプ切替時、逆止弁不良により、ボイラ給水に不具合が生じた。ただちに復旧措置を試みたが、ボイラドラム液面の急激な低下によるインターロックが作動し、焼却炉が停止した。
19	2号炉	休炉	R2.6.29	7:30	R2.6.29	16:00	R2.8.28	10:43	R2.8.31	15:07	純水再生の周期に異常(再生回数増加)が生じ、ボイラ給水流量と蒸発量の差異も大きくなった。調査のため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。

葛飾清掃工場 <休炉4、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
65	1・2号炉	休炉	R3.1.27	15:29	R3.1.27	15:30	R3.1.27	16:04	R3.1.27	20:39	計装用空気脱湿装置の不具合により計装用空気圧力下限が発報し、1号焼却炉及び2号焼却炉がともに非常停止した。
64	1号炉	休炉	R2.12.30	10:00	R3.1.12	18:00	R3.1.14	18:40	R3.1.15	11:00	日常点検時、1号炉主蒸気配管の主蒸気流量計測用フランジの保温箇所より滴下が見られた。保温材を外したところ、オリフィス部のフランジより蒸気漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。
58	1号炉	休炉	R2.12.23	11:30	R2.12.23	19:00	R2.12.29	16:44	R2.12.30	13:02	1号蒸気式ガス再加熱器(SGH) 上段 出口管寄 保温板金から水漏れを確認した。保温材を外したところ、SGH 本体内部からの断続的な蒸気漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。
3	1・2号炉	休炉	R2.4.7	6:10	R2.4.7	6:23	R2.4.8	19:35	R2.4.9	10:44	計装用空気脱湿装置の故障により計装用空気圧力下限が発報し、1号焼却炉・2号焼却炉がともに非常停止した。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」【工場別】令和2年度(4月1日～3月31日)

世田谷清掃工場 <休炉10、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
68	1号炉	休炉	R3.3.3	20:38	R3.3.4	0:09	R3.3.13	23:48	R3.3.14	12:59	スラグバーナの運転が不調となり、流下口がスラグで閉塞した。改善を試みたが、復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
61	2号炉	休炉	R3.1.1	2:25	R3.1.2	12:32	R3.1.18	21:52	R3.1.19	11:57	不燃物排出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。改善を試みたが、復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
59	1号炉	休炉	R2.12.23	19:16	R2.12.23	21:26	R3.1.7	17:07	R3.1.8	6:31	二次燃焼室ダスト排出コンベヤにて、過電流による故障が発報した。インテグレーション運転等の可能な措置を試みたが、復旧せず、ダストの排出が不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
54	2号炉	休炉	R2.11.24	4:13	R2.11.24	17:31	R2.12.11	21:02	R2.12.12	11:07	ボイラ下ダスト排出コンベヤ故障が発報した。インテグレーション運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を立ち下げた。
50	2号炉	休炉	R2.11.3	23:42	R2.11.4	2:23	R2.11.7	20:55	R2.11.8	10:58	ガス化炉にごみを供給する破砕ごみ解砕機にて、過負荷による故障が発生し、ごみ供給が出来なくなった。復旧作業を試みたが不可能であったため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
48	1号炉	休炉	R2.10.19	18:00	R2.10.19	20:55	R2.10.22	16:41	R2.10.23	6:02	不燃物排出装置から砂等排出が無くなり、内部の不燃物等による閉塞解除作業を行った。作業終了後、装置入口のガス化炉締切ゲートが動作しなかったため、焼却炉を立ち下げた。
40	1号炉	休炉	R2.9.28	0:51	R2.9.28	10:01	R2.10.1	18:40	R2.10.2	11:47	ガス化炉にごみを供給する破砕ごみ搬送装置にて、過電流による故障警報が発生し、ごみ供給が出来なくなった。復旧作業を試みたが、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
27	2号炉	休炉	R2.7.29	20:20	R2.7.29	21:21	R2.8.6	20:52	R2.8.7	10:12	不燃物排出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
5	2号炉	休炉	R2.4.12	20:00	R2.4.12	23:00	R2.4.16	23:50	R2.4.17	12:48	不燃物排出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
1	1号炉	休炉	R2.4.4	23:56	R2.4.5	18:00	R2.4.23	21:40	R2.4.24	11:06	汚水処理制御盤において故障が発生し、汚水処理の運転が不能となった。発生する汚水の処理が困難となったため、1号炉を立ち下げた。
78	1号ごみクレーン	停止	R2.3.18	13:56					R2.4.9	11:00	1号ごみクレーン巻上インバータのトリップが発生後、ごみバンカ内において着床状態で停止し運転不能となった。

大田清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
63	2号炉	休炉	R3.1.11	12:00	R3.1.11	12:12	R3.2.25	16:13	R3.2.26	6:44	2号炉第2燃焼ストロカ・ロッドシール用シリンダのジャバラが破損し、灰漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。

練馬清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
69	2号炉	休炉	R3.3.10	3:31	R3.3.10	4:55	R3.3.17	15:10	R3.3.18	12:33	No.1灰コンベヤのサイクロ減速機の故障により灰コンベヤが動作不能となった。灰の搬出ができず、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
39	1号炉	休炉	R2.9.26	6:45	R2.9.26	8:38	R2.11.12	20:10	R2.11.14	11:32	No.1灰コンベヤチェーンの破断を確認した。チェーン補修のため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。
16	2号炉	休炉	R2.6.3	23:30	R2.6.20	10:00	R2.6.24	15:12	R2.6.25	12:19	ストーカ循環水配管からの漏水の疑いがあるため、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。

杉並清掃工場 <休炉4、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
51	2号炉	休炉	R2.11.5	10:46	R2.11.6	18:00	R2.11.12	13:10	R2.11.13	9:40	2号炉ろ過式集じん器の点検中にA系No.4室の差圧が0kPaとなっているのを発見した。A系No.4室の閉塞が考えられるため、調査のため焼却炉を立ち下げた。
38	2号炉	休炉	R2.9.20	6:52	R2.9.20	10:16	R2.9.22	15:22	R2.9.23	11:44	2号No.2ボイラ灰移送コンベヤ過負荷の警報が発報した。コンベヤが動作不能となり、復旧の目途が立たなかったため、2号炉を立ち下げた。
20	2号炉	休炉	R2.6.18	14:00	R2.7.7	15:00	R2.7.9	15:12	R2.7.10	14:17	1号炉No.2灰コンベヤチェーンの破断対応時に、2号炉No.2灰コンベヤの確認を行った。その際、チェーンピンが一部破断していることを確認した。補修のため、2号炉を立ち下げた。
15	1号炉	休炉	R2.6.11	10:34	R2.6.11	11:43	R2.6.19	15:10	R2.6.20	12:08	1号炉No.2灰コンベヤ過負荷が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンが破断していた。早期復旧が困難であったため、焼却炉を立ち下げた。

光が丘清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
72	2号炉	休炉	R3.3.24	7:20	R3.3.24	22:56	R3.3.29	18:14	R3.3.30	7:39	純水用塩酸サービスタンクから廃液中和槽への配管から地下2階ポンプ室内に塩酸が漏えいした。炉室内での異臭に職員が気づき、漏えいを発見した。焼却炉稼働が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
72	1号炉	休炉	R3.3.24	7:20	R3.3.24	10:20					純水用塩酸サービスタンクから廃液中和槽への配管から地下2階ポンプ室内に塩酸が漏えいした。炉室内での異臭に職員が気づき、漏えいを発見した。焼却炉稼働が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。

令和2年度 清掃工場 故障による休炉 62件、停止 12件

令和元年度 清掃工場 故障による休炉 49件、停止 32件